

バッテリーパックについて

■ バッテリーパックのチャージランプと充電時間

点灯	充電中	充電時間の目安（約25℃の場合）
消灯	充電完了	DZ-BP14S（付属品） DZ-BP14SJ（別売品） 約2時間45分 DZ-BP21SJ（別売品） 約3時間55分
点滅	「故障かな…と思ったら」（P.133）	

■ バッテリーパックでの連続使用時間

満充電されたバッテリーパックで使用できる時間は、以下の表を目安にしてください。

バッテリーの種類	使用するモニターの種類	連続使用				通常使用			
		ピューファインダー		液晶モニター		ピューファインダー		液晶モニター	
	記録するメディア	HDD	BD/DVD	HDD	BD/DVD	HDD	BD/DVD	HDD	BD/DVD
DZ-BP14S（付属品）	約1時間40分	約1時間30分	約1時間35分	約1時間20分	約50分	約45分	約45分	約40分	
DZ-BP21SJ（別売品）	約2時間30分	約2時間15分	約2時間20分	約2時間	約1時間15分	約1時間5分	約1時間10分	約1時間	

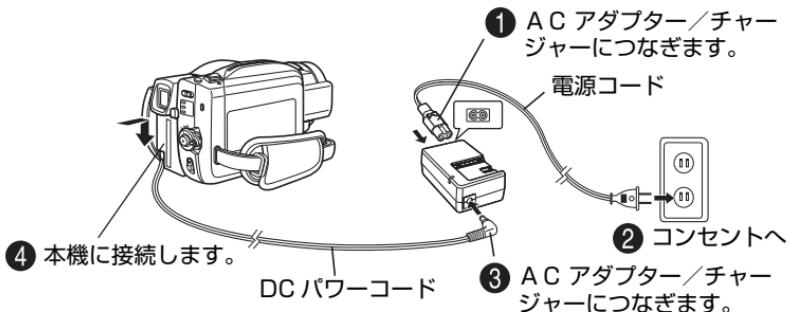
通常使用：ズーム、フォーカス、スイッチの切り換えなどを行なった場合の記録可能な時間をさします。

* DZ-BD70では、BD/DVDのみ使用できます。

ご注意

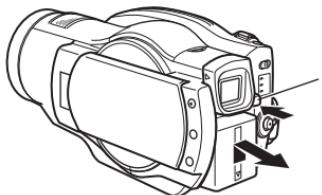
- ・気温が低い場所では、使用できる時間は短くなります。
- ・表の記載時間は参考値で、実際の撮影条件によって変わります。

■ 本機をコンセントにつないで使う



DCパワーコード接続中はバッテリー充電はできません。

■ DC パワーコードやバッテリーパックを本機から取り外すには



- ① 電源スイッチを切ってください。
 - ② バッテリーエJECTボタンを押しながら、DC パワーコードの端子、またはバッテリーパックを上にずらします。
- 落下に注意しながら取り外してください。

■ バッテリーパックを上手に使うために

バッテリーパックは使用していないくとも、また本機から取り外してもわずかに放電しています。本機の使用後は充電をしないで、お使いになる前の日などに充電することをおすすめします。

長期間使用しないときは

半年に 1 回程度満充電し、本機に取り付けた状態で使い切ってから、取り外してできるだけ湿度の低い涼しい場所に再度保管することをおすすめします。保管時はビニール袋などに入れて、端子がショートしないようにしてください。このとき、金属製のネックレスやクリップなどの金属類と同梱しないでください。

バッテリーパックの寿命について

バッテリーパックは消耗品であり、寿命はご使用の環境や使用頻度によって大きく異なります。満充電したバッテリーパックの使用時間が著しく短くなったら、寿命と考えられます。新しいバッテリーパックをお求めください。

バッテリーパックの廃棄方法

不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

充電式電池の収集・リサイクルおよびリサイクル協力店については
有限責任中間法人 JBRC (2008 年 3 月現在)

ホームページ : <http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html>



Li-ion

パワーセーブとバッテリーの消耗

録画一時停止状態のときも、撮影時と同じくらいバッテリーは消耗しますので、撮影時以外はなるべく電源を切るようにしてください。

録画一時停止の状態が約 5 分続くと、自動的に電源が切れるようにパワーセーブを設定することができます。

パワーセーブを設定したり解除する方法は、P.56 ~ 58 (パワーセーブ) をご覧ください。

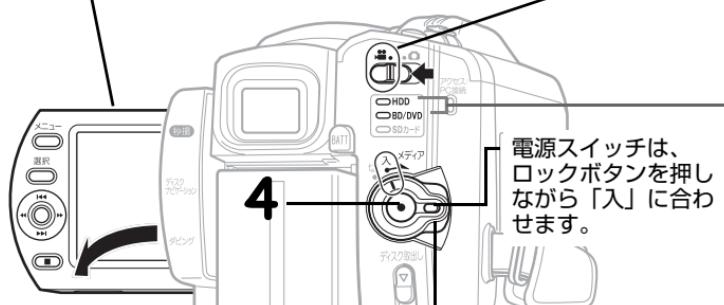
動画を撮る

DZ-BD7H：動画を、HDD か BD／DVD、どちらか選んで録画できます。

DZ-BD70：動画を、BD／DVD に録画できます。

1 動画／静止画選択スイッチを、「**動**」にする

2 液晶モニターを開く



DZ-BD7H

3 電源スイッチを「入」に合わせる

- HDD ランプが点灯し、録画一時停止状態になります。
録画は HDD にされます。

HDDからBD／DVDに切り替えるときは、さらに「メディア」まで回してはなす

- BD／DVD ランプが点灯し、電源スイッチは「入」に戻ります。
「メディア」まで回すたびに、次のように切り替わります。
HDD ランプ点灯 ⇄ BD／DVD ランプ点灯
- 電源を切るときは、「切」に合わせます。

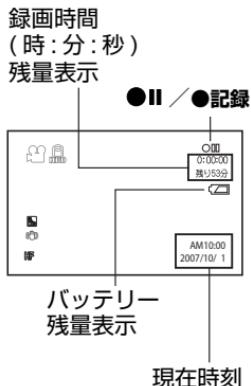
DZ-BD70

3 電源スイッチを「入」に合わせる

- BD／DVD ランプが点灯し、録画一時停止状態になります。
- 電源を切るときは、「切」に合わせます。

4 録画ボタンを押す

- 液晶画面の「●II」が「●記録」に変わり、録画が始まります。レンズ下の録画ランプ(P.17)も赤く点灯します。
- もう一度録画ボタンを押すと録画一時停止になり、「●II」が表示されます。録画経過時間は「0:00:00」にリセットされます。
- 録画を再開するときは、再度録画ボタンを押します。



本機から取り出した BD-R / DVD-RW (VF モード)、DVD-R を BD / DVD プレーヤーなどで再生する前に → 「ファイナライズ」してください。(P.103)

■ 秒撮をつかう

[秒撮]を押して本機を待機状態にすると、バッテリー消費ができるだけおさえられ（通常撮影時の約半分）、再度 [秒撮] を押すと、約 1 秒で録画可能状態になります。秒撮待機中、[秒撮] は青く点灯します。



便利

- 電源を入れてから、動画／静止画選択スイッチをスライドさせて静止画（P.44）に切り替えることもできます。
- 録画中の画面表示について詳しくは、P.41をご覧ください。
- 動画画質を切り替えることができます（P.71）。
- 以下のようなときは、「故障かな…と思ったら」（P.133）をご覧ください。
動画の録画ができない、録画するまでに時間がかかる、カメラが動作しない
- 秒撮について
 - 秒撮待機中、録画ボタンを押したり、メディアを切り替えても録画一時停止になります。録画をするには、再度録画ボタンを押します。
 - 秒撮待機から録画一時停止になると、ズーム位置（約1倍）、マニュアルフォーカス、露出、逆光補正は初期状態に戻ります（P.60、62～64）。
 - パワーセーブの設定（P.56～58）にかかわらず、秒撮待機が30分続くと自動的に電源が切れます。このときは、電源スイッチを「切」に一度合わせたあと、再度「入」にしてください。
- オートレンズカバーが開閉の途中で停止した場合には、電源スイッチを「切」に合わせて、再度電源を入れてください。

ご注意

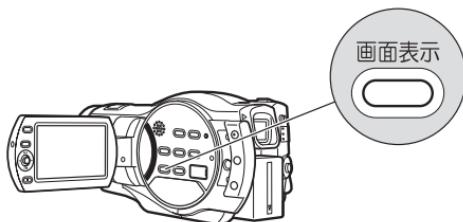
- 録画を終了しても、しばらくの間アクセス／PC接続ランプが点滅しています。アクセス／PC接続ランプの点滅中は電源を切ったり、振動を加えたりしないでください。記録データにエラーが発生し、再生できなくなることがあります（P.143）。
- 動画の最短記録時間は約3秒です。録画中、3秒未満で録画ボタンを押しても、約3秒は録画されています。
- プロテクト設定したBD／DVDには録画できませんので、P.99の方法でプロテクト解除してから録画してください。

■ 撮影時の画面表示について

画面表示ボタンの使いかた

ビューファインダーや液晶モニターには、撮影時のいろいろな情報が表示されます。[画面表示] を押して、すべての情報を表示したり、一部表示にしたりできます。

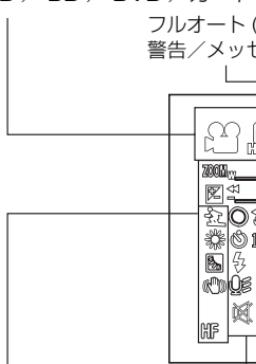
約 1 分間本機の操作を何もしないと、画面表示が自動的に消えます。もう一度画面表示をさせるには [■] (停止/キャンセル) を押してください。

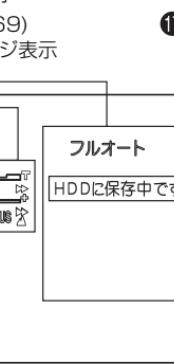


撮影時の画面表示

詳細については次ページの説明をご覧ください。

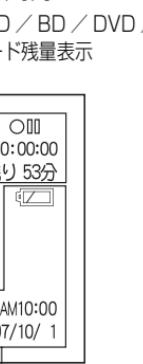
- | | | |
|---|---|--|
| ① 記録モード
② HDD / BD / DVD / カード種別

 | ③ プログラム AE
④ ホワイトバランス
⑤ 逆光補正
⑥ 手ブレ補正
⑦ 記録画質

 | ⑧ ズーム
⑨ 露出
⑩ マニュアルフォーカス
⑪ セルフタイマー
⑫ フラッシュ
⑬ マイクフィルター
⑭ HDMI 音声出力

 |
| | | ⑯ 録画状態
録画時間

⑰ HDD / BD / DVD /
カード残量表示

 |

※ 上記の画面は説明の例です。実際の表示とは異なります。

① 記録モード (P.24、26、27)

- : 動画 (HDD / BD / DVD)
 : 静止画 (カード)

② HDD / BD / DVD / カード種別 (P.30)

- : HDD
 : プロテクトされた内蔵 HDD



- : BD-RE
 : ディスクプロテクトされた BD-RE



- : BD-R
 : ファイナライズ済みの BD-R



- : BD-RW
 : ディスクプロテクトされた DVD-RAM



- : DVD-RW (VR モード)
 : DVD-RW (VF モード)



- : ディスクプロテクトされた DVD-RW (VR モード)



- : ファイナライズ済みの DVD-RW (VR モード)



- : ディスクプロテクトされた ファイナライズ済みの DVD-RW (VR モード)



- : ファイナライズ済みの DVD-RW (VF モード)



- : DVD-R
 : 本機でファイナライズ済みの DVD-R



- *1 : 本機以外でファイナライズした DVD-R、
 本機以前に発売された日立製 DVD カメラで記録した DVD-R



- : SD メモリーカード
 : ロックされた SD メモリー カード

表示なし *2

③ プログラム AE (P.65)

- : オート
 : ポートレート
 : スポットライト
 : サーフ&スノー
 : ローライト

④ ホワイトバランス (P.66)

- : オート
 : セット
 : 屋外
 : 屋内
 : 蛍光灯

⑤ 逆光補正 (P.64)

- : 逆光補正オフ
 : 逆光補正オン

⑥ 手ブレ補正 (HDD / BD / DVD 使用時) (P.67)

- : 手ブレ補正オフ
 : 手ブレ補正オン

⑦ HD 動画記録画質 (HDD / BD 使用時) (P.71)

- HQ : 高画質
 HF : 標準画質



- HS : 長時間

SD 動画記録画質 (DVD 使用時) (P.71)

- SX : 高画質
 SF : 標準画質

⑧ ズーム (P.60)



デジタルズーム：オフ



デジタルズーム：40 倍
(HDD / BD / DVD 使用時)



デジタルズーム：240 倍
(HDD / BD / DVD 使用時)

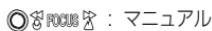
⑨ 露出 (P.63)

表示なし オート



⑩ マニュアルフォーカス (P.62)

表示なし オート



⑪ セルフタイマー (カード使用時) (P.72)

表示なし セルフタイマーオフ



セルフタイマーオン
10 秒よりカウントダウン

⑫ フラッシュ (カード使用時) (P.69)

表示なし 自動発光 オート



強制発光 オン



発光禁止 オフ

⑬ マイクフィルター (HDD / BD / DVD 使用時) (P.68)

表示なし マイクフィルターオフ

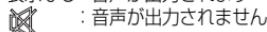


マイクフィルターオン

⑭ HDMI 音声出力 (P.100)

HDMI 接続の場合、再生時以外は本機から音声が output されません。

表示なし：音声が output されます



：音声が output されません

⑮ バッテリー残量表示 (P.36)



⑯ 録画状態

○記録 記録中

○□ 録画一時停止中 (緑色点灯)
静止画撮影時 (緑色点灯)
フォーカスロック (紫色点灯)

表示なし *3

⑰ HDD / BD / DVD / カードの残量 *4

残り○○時間○分 *5 : HDD / BD / DVD 使用時の残り録画時間 (分)

残り○枚 *6 : カード使用時の残り撮影枚数 (枚)

* 1 : 本機以外で記録などをし、本機では再生のみのディスクは、オレンジ色で表示します。

* 2 : BD / DVD やカードが入っていないときや、本機では使えないディスクやカードが入っていると表示されません。

* 3 : BD / DVD やカードが入っていないときや、初期化されていない BD / DVD 、プロテクトされた HDD / BD / DVD やロックされたカード、HDD / BD / DVD / カードに残量がないときは表示されません。

* 4 : プロテクトされた HDD / BD / DVD やロックされたカード、ファイナライズされた BD-R / DVD-RW (VF モード) / DVD-R は、残量が表示されません。

* 5 : 録画できる時間は目安です。撮影条件により異なります。

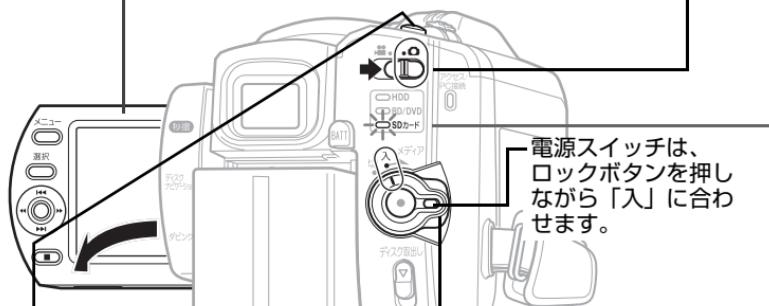
* 6 : 表示される枚数は目安です。撮影条件によっては、枚数が減らないことがあります。

静止画を撮る

静止画は、SDメモリーカードに記録されます。

1 動画／静止画選択スイッチを、「□」にする

2 液晶モニターを開く



3 電源スイッチを「入」に合わせる

- SDカードランプが点灯します。
- 電源を切るときは、「切」に合わせます。

4 [フォト]を半押しする(軽く押す)

ピントが画面中央の被写体に合い(フォーカスロック)、液晶画面に「●II」が紫色に点灯します。

5 [フォト]を全押しする(奥まで押し込む)

撮影され、しばらくすると撮影された画像が約3秒間表示されます。緑の「●II」が点灯したら、次の撮影ができます。

秒撮

P.39をご覧ください。

撮

- ・電源を入れてから、動画／静止画選択スイッチをスライドさせて動画（P.38）に切り替えることもできます。
- ・撮影中の画面表示について詳しくは、P.41をご覧ください。
- ・被写体を中央に配置しない構図で撮影したいときは、最初に被写体を画面中央で捉えて【フォト】を半押しします。次に、半押ししたまま撮影したい構図を決め、全押しします。
- ・ピントが合いにくいときは、マニュアルフォーカスを選択し、手動でピントを合わせてください（P.62）。
- ・半押しせず、一度に全押ししても撮影はできますが、ピントが合わないことがあります。
- ・カード容量と記録枚数については、P.180をご覧ください。
- ・静止画が撮影できないときは、「故障かな…と思ったら」（P.133）をご覧ください。
- ・秒撮について
 - 一 秒撮待機中、【フォト】を押しても録画一時停止になります。撮影するには、再度【フォト】を押します。
 - 一 秒撮待機から録画一時停止になると、ズーム位置（約1倍）、マニュアルフォーカス、露出、逆光補正は初期状態に戻ります（P.60、62～64）。
 - 一 パワーセーブの設定（P.56～58）にかかわらず、秒撮待機が30分続くと自動的に電源が切れます。
- ・オートレンズカバーが開閉の途中で停止した場合には、電源スイッチを「切」に合わせて、再度電源を入れてください。

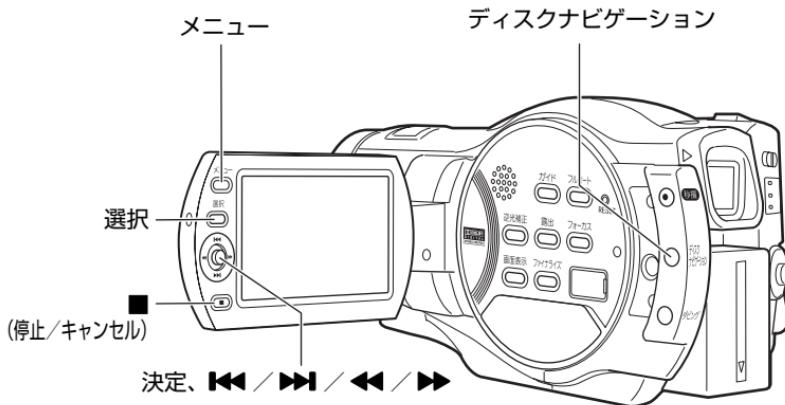
ご注意

- ・撮影後、カードアクセランプの点灯中、または「カードに保存中です」などのメッセージが液晶画面から消えるまでは、バッテリーやACアダプター／チャージャーを外さないでください。正しく記録されず再生できなくなることがあります（P.16、32）。
- ・手持ちで撮影するときには映像にブレが生じることがありますので、脇をしめ、両手で本機を支えるようにしてください。
- ・ズームの倍率を大きくして撮影するときは、本機を三脚などで固定することをおすすめします。
- ・液晶モニターやビューファインダーなどの液晶画面の映像と、記録映像に差が生じることがあります。

再生する (見る)

撮影した動画や静止画をシーンと呼びます。動画は録画開始から録画一時停止まで、静止画は静止画 1 枚が、1 シーンです。

液晶モニターを使いやすい位置に開いてください(P.20)。



HDD BD-RE BD-R RAM -RW(VR) -RW(VF) R カード

■ 最後に撮影したシーンを再生する

最後に撮影したシーンをすぐに再生できます。

- ① 本機が録画一時停止になっていないときは、再生したいメディアの録画一時停止状態にする（P.38、44）
 - ② [決定] を押す

最後に撮影したシーンが再生されます。

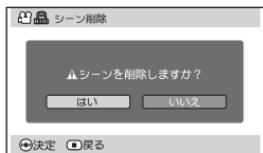
動画の場合は最後の場面になると、再生一時停止になり、「▶」（最後の場面での一時停止マーク）が表示されます。この状態が5分以上続くと、自動的に録画一時停止に戻ります。すぐに録画一時停止に戻すには、「■」を押します。

■ 最後に撮影したシーンを削除する

最後に撮影したシーンの再生中か再生一時停止中に、このシーンを削除できます。

① [メニュー] を押す

② 「編集」▶「シーン削除」を選び、[決定] を押す



③ [◀◀] を押して、「はい」を選び、[決定] を押します。

シーンが削除されます。

- 削除をやめるときは、「いいえ」のまま [決定] を押すか、[■] を押します。
- 削除後、削除中止後は、録画一時停止に戻ります。

ヒント

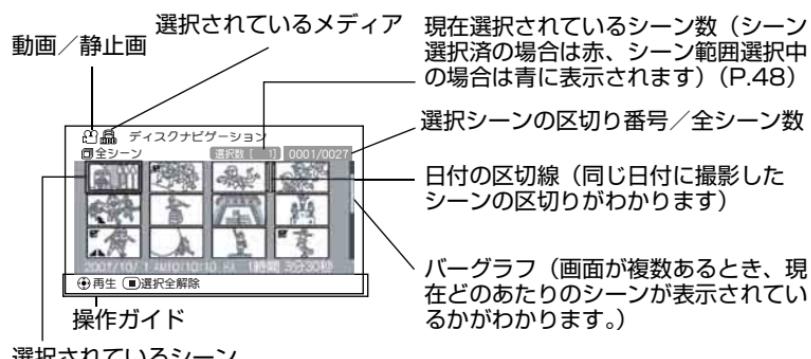
ディスクナビゲーションから再生したときに [メニュー] を押した場合、「シーン削除」は表示されません。

見
る

■ シーンを選んで再生する

① 再生したいメディアの録画一時停止状態で、[ディスクナビゲーション] を押す

シーンの一覧（ディスクナビゲーション画面）が表示されます。



選択されているシーン

② [◀◀] / [▶▶] (上下、前後ページ) / [◀◀] / [▶▶] (左右方向) を押して、シーンを選ぶ

- 押し続けると、選択が速く移動します。「選択シーン番号／全シーン数」やバーグラフを目安にしてください。

③ [決定] を押す

選んだシーンが再生されます。

最後のシーンの最後の場面で、再生一時停止になり、「▶」(最後の場面での一時停止マーク)が表示されます。この状態が5分以上続くと、自動的にディスクナビゲーション画面に戻ります。

- すぐにディスクナビゲーション画面に戻すには [■] または [ディスクナビゲーション] を押します。

録画一時停止に戻すには、もう一度 [■] または [ディスクナビゲーション] を押します。

- 「▶」が表示されているときに [決定] を押すと、先頭シーンから再生されます。

HDD BD-RE BD-R RAM RW(VR) RW(VF) R カード

■ 複数シーンを選んで再生する

「シーンを選んで再生する」(P.47) の手順①で、下の表から目的を選んで操作してください。シーン選択後、[決定] を押すと選んだシーンの再生が始まります。

- それぞれをかけ合わせて使うこともできます。
- 999シーンまで選択できます。
- 操作により、カーソル枠の色が変わりますが、次のことを示しています。

黄：現在位置、赤：選択済、青：範囲選択中、2色枠：両方の意味

複数のシーンを個々に選ぶ	[◀◀] / [▶▶] / [◀◀] / [▶▶] でシーンを選び、 [選択] を押す これを繰り返して次のシーンを選びます。
現在のシーンを起点として前後の連続した複数シーンを選ぶ	<p>① [選択] を長押しし、カーソル枠を青くする</p> <p>② [◀◀] / [▶▶] / [◀◀] / [▶▶] で終点となるシーンを選び、[決定] を押して決定する</p>
現在のシーンから、先頭までのシーンをすべて選ぶ「先頭からカーソル」	<p>① [メニュー] を押し [▶▶] で「シーン」を選び、 [◀◀] / [▶▶] で「選択」を選ぶ</p>
現在のシーンから、末尾までのシーンをすべて選ぶ「カーソルから末尾」	<p>② [決定] または [▶▶] を押す</p> <p>③ [◀◀] / [▶▶] で目的の項目を選んだあと、[決定] を押して決定する</p>
全部のシーンを選ぶ「全て」	

範囲選択中（青枠表示中）、操作を中止する	[■] を押す
選択済のシーンを個々に解除する	選択済のシーン（赤）にカーソル枠（黄）を合わせ、[選択] を押す
選択済のシーンをすべて解除する	[■] を押す

HDD BD-RE BD-R RAM RW(VR) RW(VF) R カード

■ 指定した場面へジャンプする

- ① 「シーンを選んで再生する」(P.47) の手順③の状態（シーン再生中）で、[メニュー] を押す
メニューが表示されます。
- ② [◀◀] / [▶▶] で「ジャンプ」を選び、[▶▶] を押す
- ③ [◀◀] / [▶▶] でジャンプしたい項目を選ぶ
先頭：先頭にジャンプして、再生一時停止します。
末尾：最後のシーンの末尾にジャンプして、再生一時停止します。
指定：任意の場面にジャンプして、再生一時停止します。詳細は次ページを参照してください。
- ④ [決定] を押す

● ジャンプ先を指定するには

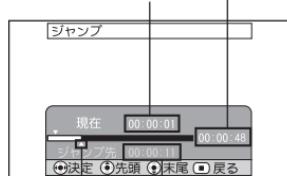
「指定した場面へジャンプする」
(P.49) の手順 3 で「指定」▶

[決定] を押す

ジャンプ先指定の画面が表示されます。

1

記録時間合計の長さ
現在の再生画の位置



カーソル カーソルの位置

2

[◀◀ / ▶▶ / ◀◀ / ▶▶] で任意の時間を選ぶ

[◀◀] : 先頭シーンの頭に移動します。

[▶▶] : 最後のシーンの末尾に移動します。

[◀◀ / ▶▶] を 1 回押す :

HDD では 1 分 (BD / DVD は 10 秒、カードは 1 枚) 単位でカーソルを移動します。

[◀◀ / ▶▶] を押し続ける :

HDD では 10 分 (BD / DVD は 1 分、カードは 10 枚) 単位でカーソルを移動します。



(シーンの先頭を選択した場合)

[決定] を押す

3

指定した位置にジャンプして、再生一時停止します。

- ・[決定] をもう 1 回押すと、再生を開始します。

コト

・途中でやめたい場合は、ジャンプする前に [■] を押します。

・カードの場合は、先頭、現在、末尾、ジャンプ先の表示部に枚数が表示されます。

ご注意

カーソルの位置は目安です。カーソルは同じ間隔で移動しない場合があります。

ご注意

- カードの静止画を再生すると、まず「再生を開始します。」が表示されます。画素数の大きな静止画の場合、シーンが表示されるまでに時間がかかります。
- 以下のようなときは、電源を入れると自動的にディスクナビゲーション画面が表示されます。
 - HDD / BD / DVD がプロテクトされている
 - SD メモリーカードがロックされている
 - ファイナライズ済みの BD-R / DVD-RW (VF モード) / DVD-R が本機に入っている
 - 本機以外の日立製 DVD カメラで記録された DVD-RW (VF モード) / DVD-R が本機に入っている
 - シーンの数が多いと、シーンの再生開始に時間がかかる場合があります。

HDD BD-RE BD-R RAM RW(VR) RW(VF) R

■ 動画再生中、スピーカーの音量を調節する**■ 再生時の画面表示**

再生する映像に重なって、いろいろな情報が表示されます。[画面表示] を押すごとに、以下のように切り替わります。

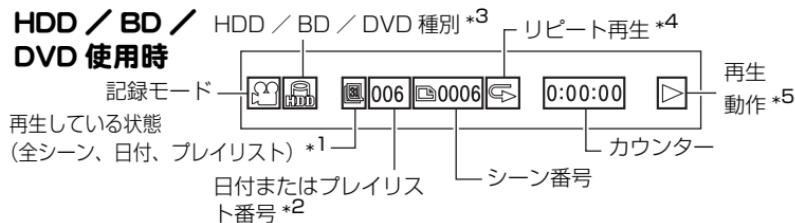


※ 表示の意味については次ページをご覧ください。

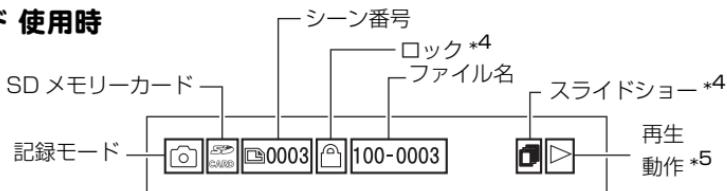
画面表示モード

再生中の状態を表示します。

HDD / BD / DVD 使用時



カード 使用時



*1 プレイリスト、 日付、または、 全シーン

*2 全シーンを再生中は表示されません。

*3 P.42 の「HDD / BD / DVD / カード種別」をご覧ください。

*4 設定されているときに表示されます。(P.54、55、96)

*5 再生動作には以下があります。

▶：再生中 ■：再生一時停止中

▶▶：正方向サーチ再生中

◀◀：逆方向サーチ再生中

▶▶▶：正方向スキップ再生中

◀◀◀：逆方向スキップ再生中

▶▶▶▶：正方向コマ送り再生中

◀◀◀◀：逆方向コマ送り再生中

▶▶▶▶▶：正方向スロー再生中

◀◀◀◀◀：逆方向スロー再生中

操作の仕方は右欄をご覧ください。

最初の画面では、◀が表示されます。

最後の画面では、▶が表示されます。

■ 再生中、一時停止中にボタン 1つで操作できる機能

HDD BD-RE BD-R RAM RW(VR) RW(VF) R

動画（再生中）

機能	再生中に押す
一時停止	[決定]
液晶画面に「■」（途中場面での一時停止マーク）が表示されます。	
早送り／早戻し	▶▶] / [◀◀] (押し続ける)
頭出し (スキップ)	▶▶] / [◀◀]
▶▶] を押すと次のシーンの頭から、 [◀◀] を押すと、再生中のシーンの頭から（続けて押すとそのたびにシーンを 1 つずつスキップして）再生します。	
最初に [◀◀] を押したところが最初 の場面から数秒のときは、再生中の 前のシーンの頭にスキップします。	
最後のシーンで ▶▶] を押すと、最 後の場面で再生一時停止となります。	
連続頭出し (連続スキップ)	▶▶] / [◀◀] (押し続ける)
再生中の次／前のシーンから、連続頭 出しが始まります。見たい場面でボタ ンをはなします。	

HDD BD-RE BD-R RAM RW(VR) RW(VF) R 動画（再生一時停止中）

以下の機能は、再生一時停止中も、再
生中と同様に働きます。ただし、ボタ
ンをはなすと再生ではなく、再生一時
停止になります。

- ・早送り／早戻し
 - ・頭出し（スキップ）
 - ・連続頭出し（連続スキップ）
- 再生一時停止中にしか働かない機能は
以下のとおりです。

機能	一時停止中に押す
コマ送り／ コマ戻し	▶▶] / [◀◀]
押すたびに 1 コマずつ進み／戻ります。	
・音声は出ません。	
・コマ送りの間隔は約 0.03 秒、コマ戻 しの間隔は約 0.5 秒です。	
スロー再生／ 逆スロー再生	▶▶] / [◀◀] (押し続ける)
・音声は出ません。	
・スロー再生は約 0.03 秒間隔で、逆ス ロー再生は約 0.5 秒間隔で再生され ます。	
連続頭出し (連続スキップ)	▶▶] / [◀◀] (押し続ける)
再生中の次／前のシーンから、連続頭 出しが始まります。見たい場面でボタ ンをはなします。	

ご注意

- ・本機の内部が高温になると正常に動
作しなくなることがあります。一度電
源を切り、しばらく待ってから再度電
源を入れて操作してください。
- ・スロー再生では、動きの激しい被写体
の画像がブレることがあります。

カード

カード の 静止画再生中

機能	再生中に押す
前後のシーンを選ぶ	[▶] [▶] / [◀] [◀]
[▶] または [▶] を押すと次のシーンを、[◀] または [◀] を押すと前のシーンを再生されます。押し続けると、はなすまで順次再生されます。	
・自動連続再生する、スライドショー機能もあります。	

見る

カード

■ カード の 静止画を自動連続再生する(スライドショー)

スライドショーをオンにして再生すると、静止画が次々に再生されます。シーンの範囲指定がされているときは、その範囲内でスライドショー再生されます。

- ① ディスクナビゲーション画面(P.47)で、[メニュー]を押す
 - ② [◀] / [▶] を押して、「再生設定」を選び、[▶] を押す
 - ③ 「スライドショー」を選び、[▶] を押して「オン」を選ぶ
 - ④ [メニュー] を押してメニューを消し、ディスクナビゲーション画面からシーンを選ぶ
- スライドショーが始まります。

HDD BD-RE BD-R RAM RW(VB) RW(VF) ⑧

■ 動画から 静止画を切り出す (静止画キャプチャー)

再生中の動画の一場面を、静止画（約207万画素（HDD／BD）／約31万画素（DVD））としてカードに保存します。

- ① 再生中、切り出したい場面で [フォト] か [メニュー] を押します。
[フォト] を押した場合は、手順④に、[メニュー] を押した場合は手順②に進んでください。
- ② [◀] / [▶] を押して、「編集」を選び、[▶] を押します。
- ③ 「静止画キャプチャー」が選ばれていないときは、[◀] / [▶] を押して選び、[決定] を押します。
- ④ [◀] を押して「はい」を選び、[決定] を押します。

- ・ キャプチャーをやめるときは、「いいえ」のまま [決定] を押すか、[■] を押します。
- ・ キャプチャー完了後、中止後は、再生一時停止になります。

■ 繰り返し再生する (リピート再生)

リピート再生をオンにして再生すると、最後のシーンの再生が終わっても最初のシーンから繰り返し再生されます。

シーンの範囲指定がされているときは(P.48)、その範囲内の再生が繰り返されます。

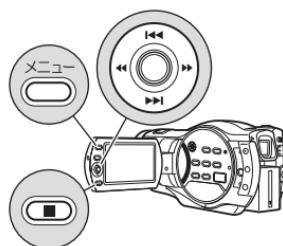
- ① ディスクナビゲーション画面(P.47)で、[メニュー]を押します。
- ② [◀◀] / [▶▶]を押して、「その他設定」を選び、[▶▶]を押します。
- ③ [◀◀] / [▶▶]を押して、「リピート再生」を選び、[▶▶]を押します。
- ④ [◀◀] / [▶▶]を押して「オン」を選び、[決定]を押して決定します。
- ⑤ [メニュー]を押して、ディスクナビゲーション画面に戻します。
- ⑥ [決定]を押して、再生します。
 - ・再生を終了するには、[■]を押します。(リピート再生はオンのままで。)
 - ・リピート再生は、以下をすると「オフ」になります。
 - 手順④で「オフ」を選ぶ
 - 電源を切る
 - BD / DVDを取り出す
 - ・録画一時停止した状態から再生したときは、リピート再生されません。

いろいろな撮影テクニック

メニュー操作について

「いろいろな撮影テクニック」のうち、多くの機能が、メニューを使います。

メニュー操作の手順は、例えば以下のように記述されています。

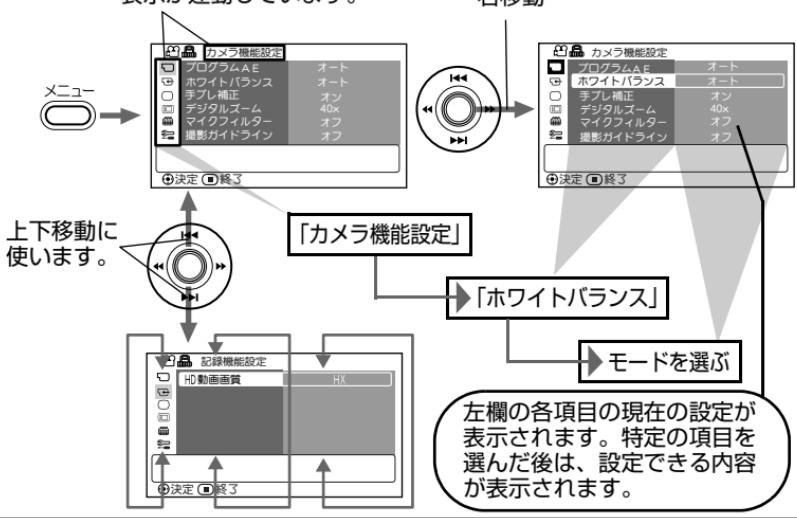


1 [メニュー] を押す

2 「カメラ機能設定」▶「ホワイトバランス」▶モードを選ぶ

表示が連動しています。

右移動

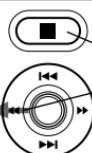


3 [決定] を押し、[メニュー] で終了



* 変更をやめるときは、[決定] を押す前に、[メニュー] を押します。

1つ前の画面に戻るとき



ほぼ同様に働きます。

左方向に戻るとき

メニュー(撮影時、初期設定)

備考: ●は動画、静止画共通で、どちらからでも設定可

動画メニュー

メニュー項目(1階層め)	メニュー項目(2階層め)	備考	参照先
カメラ機能設定	プログラム AE	●	P.65
	ホワイトバランス	●	P.66
	手ブレ補正		P.67
	デジタルズーム		P.60
	マイクフィルター		P.68
	撮影ガイドライン	●	P.68
記録機能設定	HD動画画質(HDD／BDの場合) SD動画画質(DVDの場合)		P.71
出力機能設定	コンポーネント出力設定	●	P.101
LCD／EVF 設定	LCD／EVF 調節	●	P.58
	EVF 表示	●	P.58
日付機能設定	日付設定	●	P.23
	表示モード	●	P.58
初期設定	操作音	●	P.58
	パワーセーブ	●	P.58
	録画ランプ	●	P.71
	言語切替	●	P.58
	デモモード	●	P.59
	設定リセット	●	P.58

静止画メニュー

メニュー項目(1階層め)	メニュー項目(2階層め)	備考	参照先
カメラ機能設定	プログラム AE	●	P.65
	ホワイトバランス	●	P.66
	フラッシュ		P.69
	撮影ガイドライン	●	P.68
記録機能設定	セルフタイマー		P.72
出力機能設定	コンポーネント出力設定	●	P.101
LCD／EVF 設定	LCD／EVF 調節	●	P.58
	EVF 表示	●	P.58
日付機能設定	日付設定	●	P.23
	表示モード	●	P.58
初期設定	操作音	●	P.58
	パワーセーブ	●	P.58
	録画ランプ	●	P.71
	言語切替	●	P.58
	デモモード	●	P.59
	設定リセット	●	P.58

■ LCD / EVF 設定と初期設定について

メニュー項目	機能説明		初期値
LCD / EVF 設定	LCD 明るさ	液晶モニターの明るさを調節します。	—
	EVF 明るさ	ビューファインダーの明るさを調節します。	—
	色のこさ	液晶モニターとビューファインダーの色のこさを調節できます。	—
EVF 表示	オンにすると、ビューファインダーを、液晶モニターの位置に関係なく常時オンにすることができます。		オート
初期設定	操作音	オンにすると操作音が鳴り、オフにすると操作音が鳴らなくなります。	オン
	パワーセーブ	オンのときは、録画一時停止で約 5 分間何も操作をしないと自動的に電源が切れます。 オフのときは手動でのみ電源が切れます。	オフ
	録画ランプ	P.71	オン
	言語切替	日本語／英語を切り替えます。	日本語
	デモモード	P.59	オート
設定リセット	メニューを初期状態に戻します。		—

* LCD / EVF 調節時は、EVF 表示「オート」／「オン」に関わらず、ビューファインダーを表示します。

日時の設定について

手順は、「日時を設定・確認する（お買い上げ時や久しぶりに使う場合）」(P.23) をご覧ください。

ご注意

本機は日付と時刻を記憶しておくための充電式電池を内蔵しています。内蔵電池がなくなると、日付がリセットされてしまいます。6ヶ月に1回、本機をコンセントにつなぐか、充電したバッテリーパックを本機に取り付け、24 時間電源を切った状態でおいてください。内蔵電池が充電されます。

年／月／日の表示順序を入れ替えるには

「月／日／年」や「日／月／年」の表示順にすることもできます。（「日／月／年」を選ぶと、時刻表示は24 時間制になります。）

- ① [メニュー] を押す
- ② 「日付機能設定」▶「表示モード」▶年月日の表示順序を選ぶ
- ③ [決定] を押し、[メニュー] で終了

■ デモンストレーション機能について

お買い上げ時は、「オート」に設定されています。

AC アダプター／チャージャーについて、本機の電源を入れ、メディアの選択が「HDD」の場合、約 10 分間何も操作しないと、自動的にデモンストレーションが始まります。(DZ-BD7H)

また、AC アダプター／チャージャーについて、記録メディア（BD／DVD、SD メモリーカード）が入っていない場合も、約 10 分間何も操作しないと、自動的にデモンストレーションが始まります。

- デモンストレーションをキャンセルするには、どれかボタンを押してください。

デモンストレーション機能をオフにしたいとき、 すぐ見たいとき

① [メニュー] を押す

② 「初期設定」▶「デモモード」

以下より設定を選ぶ

オート：上記

オフ：デモンストレーション機能をオフにします。

スタート：すぐにデモンストレーションが始まります。デモンストレーションをキャンセルすると、元の設定（オートまたはオフ）に戻ります。

③ [決定] を押す

ご注意

- バッテリーパックをお使いのときに「オート」に設定してもデモンストレーションは始まりません。
- パソコンと接続しているときは、デモンストレーション機能は働きません。

HDD BD-RE BD-R RAM RW(VR) RW(VF) R カード

大きく撮る（光学ズームとデジタルズーム）

ズームレバーは倒す方向により以下のように動き、倒し続けるとそれぞれの最大値まで働きます。

ズームレバーを少し倒すとゆっくりズームし、大きく倒すと速くズームします。

光学 10 倍が望遠の最大です。カード使用時（静止画撮影）は、光学ズームのみ働きます。

W : 広角
広い範囲で撮れます。
T : 望遠
大きく撮れます。



ズームの最大値は、メニューの「デジタルズーム」の設定により、以下のようにになります。

デジタルズームの設定

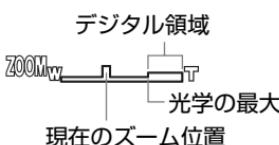
オフ

ズームを使うと、液晶画面に光学ズームバーが表示されます。

ZOOM W T
光学の最大
現在のズーム位置

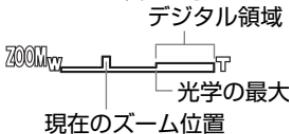
40 ×

光学 10 倍を超えると自動的にデジタルズームになり、望遠の最大が 40 倍になります。ズームバーは、次のようになります。



240 ×

望遠の最大が 240 倍になります。ズームバーは、次のようになります。



「デジタルズーム」を設定する

1 [メニュー] を押す

2 「カメラ機能設定」▶「デジタルズーム」▶デジタルズームの設定を選ぶ

3 [決定] で決定後、[メニュー] で終了
・デジタルズームの設定は、電源を切っても記憶されています。



リモコンの [デジタルズーム] を押しても切り替えることができます。ボタンを押すたびに
「オフ」→「40×」→「240×」
に切り替わります。

ご注意

- ズーム操作をしたときに、一瞬ピントがずれことがあります。
- デジタルズームが加わると、画質が粗くなります。
- カード使用時は、デジタルズームが設定できません。

HDD BD-RE BD-R RAM RW(VR) RW(VF) R カード
至近距離からの撮影（接写）

小さい被写体を至近距離から撮影するときは、レンズ面に約2cmまで近づいて、画面いっぱいに拡大して撮影できます。

接写のしかた

- 1 被写体に本機を向け、ズームレバーをW(広角)側いっぱいにする**
- 接写をするときは光量不足になりがちです。画面が暗いときは、被写体に照明を当ててください。

ご注意

ズームは使用できますが、被写体までの距離により、ピントが合わなくなることがあります。

HDD BD-RE BD-R RAM RW(VR) RW(VF) R カード

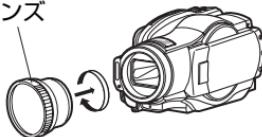
別売のレンズで、より広角に、より望遠で撮影する

テレコンバージョンレンズ
DZ-TL43(別売)を使うとより望遠に、ワイドコンバージョンレンズ
DZ-WL43(別売)を使うとより広角に、撮影できます。
別売品を選ぶときには、フィルター径43mm、ネジピッチ0.75mmのものをご使用ください。

別売のレンズの取り付けかた

コンバージョンレンズのレンズキャップを外し、本機に取り付ける

- 1 コンバージョンレンズ**



ご注意

- DZ-TL43を装着した場合は、T端(望遠側)のピントの合う範囲が約3mから無限遠の範囲になります。
- コンバージョンレンズを使用すると、撮影状況によってはホワイトバランスが動作しないことがあります。(通常は、ホワイトバランスは自動調整されています。)その場合は、ホワイトバランスを手動で調整してください(P.66)。
- コンバージョンレンズを装着した場合、W側(広角側)で画面の四隅が暗くなったり、欠けたりする場合があります。特に、ワイドコンバージョンレンズを装着した静止画モードでは発生しやすくなりますので、このような場合は、W側より少しズームを戻してお使いください。また、四隅の暗さは均一ではない場合があります。
- レンズを交換する際に、本機が落下しないようご注意ください。
- コンバージョンレンズを装着すると、フラッシュは使用できなくなります。「フラッシュ」の設定は「オフ」にしてください(P.69)。
- 市販のコンバージョンレンズは、使用できないものもあります。

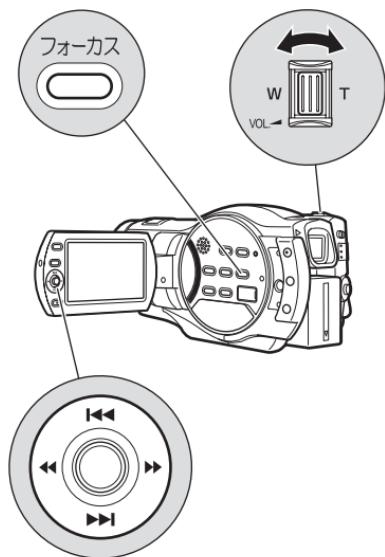
ピントを手動で合わせる (マニュアルフォーカス)

本機のピントは自動で合いますが(オートフォーカス)、「オートフォーカスでピントが合いにくい状況」(P.63) のときは、手動でピント合わせをしてください(マニュアルフォーカス)。

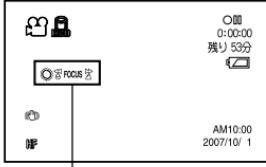
ピントの合う範囲

- T(望遠)側:レンズ面より約1mから無限遠
- W(広角)側:レンズ側より約2cmから無限遠

マニュアルフォーカスのしかた



撮影時に、[フォーカス] を押す
液晶画面にフォーカスアイコンが表示され
ます。



1

マニュアルフォーカスアイコン

- もう一度 [フォーカス] を押すと、オートフォーカスに戻ります。アイコンはマニュアルフォーカス時のみ表示されます。

2

ズームレバーを T(望遠) 側に動か
して被写体を大きく写す

3

[◀◀] / [▶▶] でピントを調整する

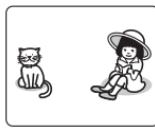
- 電源を切ると、オートフォーカスに戻ります。
- 手動でピントを合わせるときは、手順2で行ったように、必ず被写体を大きく写してください。
W(広角) 側のほうでピントを合わせると、T 側にしたときにピントがずれることがあります。

ヒント

マニュアルフォーカスでピントを調整中に露出を調整することができます。このとき、液晶画面に露出バーがオレンジ色に表示されます。

[フォーカス] を押すと、マニュアルフォーカスに戻ります。

オートフォーカスでピントが合いにくい状況



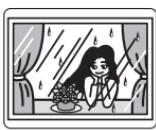
中央に被写体がない



遠くと近くの両方に被写体がある



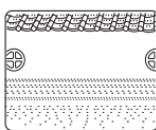
ネオンサインやスポットライトなど、輝いたり、強い光が反射する被写体



水滴や汚れの付いたガラス越しの被写体



動きの速い被写体



白い壁など明暗差がほとんど無い被写体



暗い被写体

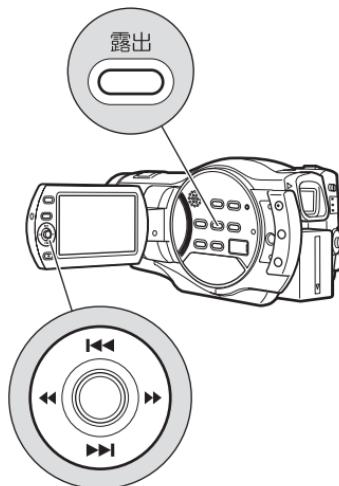


夜景

HDD BD-RW BD-R RAM RW(VR) RW(VF) 8カセット
撮影画像の明るさを調整する
(露出)

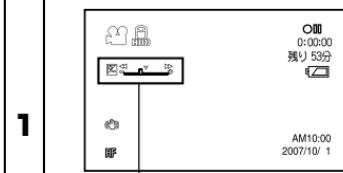
通常は、自動で露出を調整するようになっています。撮影状況に応じて、手動で露出を調整することもできます。

手動露出調整のしかた



撮影時に、[露出]を押す

液晶画面に露出バーが表示されます。



露出バー

- もう一度[露出]を押すと、自動調整に戻ります。手動調整時のみバーが表示されます。

- 2** [◀◀] / [▶▶] で露出を調整する
・電源を切ると、露出は自動調整に戻ります。

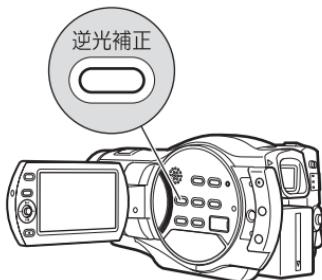
ピント

露出を調整中に [フォーカス] を押すと、マニュアルフォーカスでピントを調整することができます。このとき、液晶画面にマニュアルフォーカスアイコンがオレンジ色に表示されます。
[露出] を押すと、露出調整に戻ります。

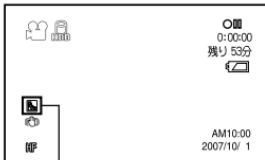
HDD (BD-RE) (BD-R) RAM (RW(VR)) (RW(VF)) (R カード) 逆光を補正する（逆光補正）

逆光のとき、被写体が暗くならないように補正できます。

逆光補正のしかた



撮影時に、[逆光補正] を押す
液晶画面に逆光補正アイコンが表示されます。



逆光補正アイコン

- ・[逆光補正] を押すたびに、オンとオフが切り替わります。オンのときのみ、逆光補正アイコンが表示されます。
- ・逆光補正の設定は、電源を切るとオフに戻ります。

HDD BD-RE BD-R RAM RW(VR) RW(VF) R カード
状況に合った撮影モードを選ぶ (プログラム AE)

本機は被写体と周囲の状況を自動で判断し、最適な映像を撮影しますが(オート時)、状況に応じて撮影モードを選べば、より意図した撮影ができます。

撮影モード

オート(表示なし)



ポートレート

人物や生物などを撮影するときに、背景をぼかして、被写体を浮かび上がらせます。



スポットライト

結婚式や舞台など被写体に強い光が当たっているときに、人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。



サーフ&スノー

真夏の海辺やスキー場など、照り返しの強い場所で人物の顔などが暗くなるのを防ぎます。



ローライト

暗いところで少ない明かりで撮影できるモードです。

このモードを使うと、液晶モニターを照明にして撮影できます(アシストライト)。

撮影モードの選びかた

1 [メニュー]を押す

2 「カメラ機能設定」▶「プログラム AE」
▶撮影モードを選ぶ

- 3** [決定]で決定後、[メニュー]で終了
選んだ撮影モード(オート以外)が液晶画面に表示されます(P.41)。
・撮影モードは、電源を切っても記憶されています。

ご注意

- 暗いところで撮影するとき、動きのある被写体や手ブレがある場合、残像が出ます。本機を三脚などで固定することをおすすめします。

HDD BD-RE BD-R RAM RW(VR) RW(VF) R カード

暗い場所を液晶モニターの明かりで撮る(アシストライト)

液晶モニターを照明にし、映像はビューファンダーで確認しながら(P.21)撮影できます。

- 1** 左記の手順1~3を行い、手順2の撮影モードで「ローライト」を選ぶ

- 2** 液晶モニターを180°回転させて前に向ける

液晶モニターが白く点灯します。

・暗い場所でも1mの距離まで撮影できます。

ご注意

- 動きのある被写体や手ブレがある場合、残像が出ます。本機を三脚などで固定することをおすすめします。

色合いを調整する (ホワイトバランス)

被写体を撮影するときには、光が必要になります。人間の目は、見たまま色を認識することができますが、カメラで撮影するときは、目で見ているよりも被写体が赤くなったり、青く写ることがあります。白いものを白く撮るために、ホワイトバランスを調節します。通常は自動で色の調整をします(オート時)。

撮影状況に応じて、ホワイトバランスの設定を変えてください。

ホワイトバランスモード

オート(表示なし)

セット

日没、日の出を撮影する場合、日陰で撮影する場合、スポットライトで照らされている舞台などを撮影する場合など、光源や状況に合わせて、手動で設定できます。



屋外

晴天下での撮影のときに合わせます。



屋内

白熱灯やハロゲンランプ、電球色系蛍光灯などのもとでの撮影のときに合わせます。



蛍光灯

蛍光灯のもとでの撮影のときに合わせます。

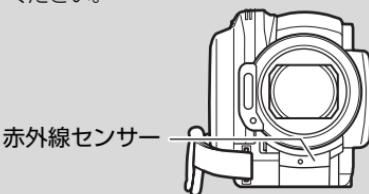
- 2 「カメラ機能設定」▶「ホワイトバランス」▶ホワイトバランスのモードを選ぶ

- 3 [決定]で決定後、[メニュー]で終了
選んだホワイトバランスのモード(オート以外)が画面に表示されます(P.41)。

- ホワイトバランスのモードは、電源を切っても記憶されています。

ご注意

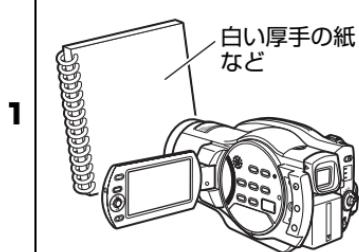
良い色あいで撮影するために、赤外線センサーの前を手などでふさがないでください。



■ ホワイトバランスを手動で設定する(セット)

裏が透けない、白い厚手の紙などを用意ください。

- 1 画面いっぱいに、白い被写体を映す



- 2 [メニュー]を押す

- 3 「カメラ機能設定」▶「ホワイトバランス」▶「セット」

ホワイトバランスのモードの選びかた

- 1 [メニュー]を押す

4 [決定]を押す

液晶画面に、「」が点滅します。

再度 [決定]を押し、そのままはなさず押し続ける**5**

しばらくすると、点滅している「」が点灯にかかり、ホワイトバランスの設定が完了します。

[決定]をはなしてください。

終了する場合は [■]を、やり直す場合は再度手順 5 を行う**6**

- 「セット」に設定されたホワイトバランスは、次に設定し直すまで記憶されています。
- 色合いを正確に合わせるため、撮影条件が変わったときに「セット」を設定し直してください。

注意をうながすため、ホワイトバランスのモードを「セット」にしたまま電源を切ると、次に電源を入れたときに液晶画面に「」が点滅します。前回の設定は記憶されていますので、必要に応じて設定し直してください。

ご注意

- 暗い場所ではうまく設定できないことがあります。またズームバーがデジタル領域(P.60)にあるときは、ホワイトバランスの「セット」の設定ができません。
- ホワイトバランスの設定ができないときは、「」が点滅したままになります。ズームを光学領域に戻し、明るい場所で設定し直してください。
- 「セット」の設定が完了しないまま、時間が経って録画一時停止に戻った場合は、液晶画面に「」が点滅しています。もう一度手順 1 からやり直してください。

HDD      

**ブレを少なくして撮る
(手ブレ補正)**

ズームで被写体を大きくして撮ると映像がぶれやすくなりますが、手ブレ補正機能がオンになっていると自動補正されてぶれにくくなります。

本機を台の上に置いたり、三脚を使用する場合は、手ブレ補正機能をオフにして撮影することをおすすめします。

手ブレ補正をオン、オフする**1 [メニュー]を押す****2 「カメラ機能設定」▶「手ブレ補正」
▶「オン」/「オフ」**

[決定]で決定後、[メニュー]で終了「オン」にすると、液晶画面に「」が表示されます(P.41)。

3

- 手ブレ補正の設定は、電源を切っても記憶されています。
- 「オフ」にした場合、いつも「オフ」で撮影するのなければ、撮影後は「オン」に戻してから電源を切ることをおすすめします。

ご注意

- 手ブレ補正が働いていると実際の動きと画面の動きに若干の差が生じます。
- 手ブレ補正が「オン」になっていても、手ブレが大きすぎると補正されないことがあります。脇をしめ、本機を両手で支えて撮影することをおすすめします。
- テレコンバージョンレンズやワイドコンバージョンレンズを使用しているときは手ブレ補正が正しく動作しないことがあります。
- カード使用時は手ブレ補正を設定できません。
- 撮像素子(CMOSセンサー)の画像の性質により、手ブレ補正が働いているときに、被写体がゆがんで見えたり、ブレて見えたりすることがあります。故障ではありません。「故障かな…と思ったら」(P.133)をご参照ください。

HDD BD-RE BD-R RAM RW(VR) RW(VF) R

風の音を低減させて撮る

「マイクフィルター」を「オン」にすると、本機の内蔵マイクで録音するときには、風の音を低減させることができます。撮影時にマイクに入る音のうち、低域の部分がカットされるため、対象の音が聞き取りやすくなります。

マイクフィルターをオン、オフする

1 [メニュー]を押す

2 「カメラ機能設定」▶「マイクフィルター」▶「オン」/「オフ」

[決定]で決定後、[メニュー]で終了「オン」になると、液晶画面に「①」が表示されます(P.41)。

- 3
- マイクフィルターの設定は、電源を切っても記憶されています。
 - 「オン」にした場合、いつも「オン」で撮影するのでなければ、撮影後は「オフ」に戻してから電源を切ることをおすすめします。

HDD BD-RE BD-R RAM RW(VR) RW(VF) R カード 撮影ガイドラインを表示させる

撮影時に、映像の水平と垂直を確認するために補助線を表示させます。構図のバランスを見る目安になります。

撮影ガイドラインをオン、オフする

1 [メニュー]を押す

2 「カメラ機能設定」▶「撮影ガイドライン」
▶「オン」/「オフ」

3 [決定]で決定後、[メニュー]で終了
「オン」になると、液晶画面に縦横のガイドラインが表示されます。

ご注意

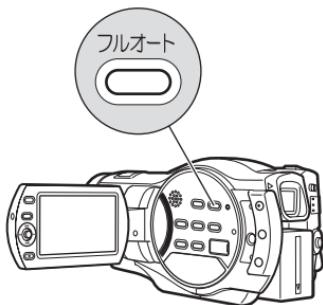
外部マイクを使用しているとき、マイクフィルターは働きません。(P.73)

カメラの撮影設定をすべて初期値に戻す(フルオート)

手動調整した以下の撮影設定を、ボタン1つで初期値に戻せます。

機能	初期値	参照先
フォーカス	オート	P.62
露出	オート	P.63
逆光補正	オフ	P.64
プログラム AE	オート	P.65
ホワイトバランス	オート	P.66
手ブレ補正	オン	P.67
マイクフィルター	オフ	P.68

撮影設定をフルオートにする



- 1 撮影時に、[フルオート]を押す
液晶画面に「フルオート」と数秒間表示され、設定が初期値に戻ります。

カート

フラッシュを使う

薄暗いところで静止画撮影をする場合、シャッタースピードが遅くなるので手ブレが生じやすくなります。フラッシュの使用をおすすめします。

通常、フラッシュは状況に応じて自動的に発光しますが(オート時)、状況に応じて強制発光(オン)や発光禁止(オフ)にすることもできます。

フラッシュモード

オート

フラッシュが必要かどうか、本機が自動的に判断をします。

フラッシュが発光するときは、[フォト]を半押しすると液晶画面に「」が表示され、全押しでフラッシュが発光します。

オン

常時液晶画面に「」が表示され、全押しすると常にフラッシュがたかれます。

オフ

常時液晶画面に、「」が表示され、発光しません。

フラッシュモードの選びかた

- 1 [メニュー]を押す

- 2 「カメラ機能設定」▶「フラッシュ」
▶フラッシュのモードを選ぶ

【撮影】

- 3** [決定]で決定後、[メニュー]で終了
- 液晶画面内のフラッシュのアイコン位置(P.41)
 - フラッシュの設定は、電源を切っても記憶されています。
 - いつも決まった設定で撮影するのではなく、「オン」あるいは「オフ」での撮影後は、「オート」に戻してから電源を切ることをおすすめします。

- フラッシュを使って連続して撮影すると、フラッシュが発光しなかったり、光量の調整ができないことがあります。フラッシュを使って撮影したあとは、しばらくたってから再び[フォト]を押して撮影することをおすすめします。
- フラッシュを人の目の前に近づけて使用しないでください。目の近くで発光させると視力障害を起こす危険があります。特に乳幼児を撮影するときには1m以上離れてください。
- 乗り物の運転者に向けてフラッシュを使用しないでください。運転者に向けてフラッシュを使用すると目がくらみ事故を起こす原因になります。
- 可燃性、爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しないでください。引火、爆発の原因になります。

【注意】

- コンバージョンレンズを装着しているときには、フラッシュを使用できません。「フラッシュ」の設定は「オフ」にしてください。
- フラッシュの使用可能範囲(めやす)は被写体によって異なりますが、暗いところで約1m~2.5m程度です。
- フラッシュは、発光時に自動的に光量を調整しますが、被写体までの距離が遠いときや近いときには、光量調整が十分にできないことがあります。
- 逆光時など明るい場所では、フラッシュ効果が得られにくいことがあります。

HDD BD-RE BD-R RAM RW(VR) RW(VF) B カード

レンズ下にある録画ランプを消す

レンズ下にある録画ランプを消す(オフにする)ことができます。

録画ランプは、録画中であることをお知らせするため、赤く点灯しますが(オン時)、ガラスごしや水槽などの撮影で赤いランプの反射を防ぐには「オフ」にしてください。

録画ランプのオン、オフのしかた

1 [メニュー] を押す

2 「初期設定」▶「録画ランプ」
▶「オン」/「オフ」

3 [決定] で決定後、[メニュー] で終了
 • 録画ランプの設定は、画面情報には表示されません。
 • 録画ランプをオフにしていても、セルフタイマー(P.72)中は点灯します。

HDD BD-RE BD-R RAM RW(VR) RW(VF) B

動画画質を切り替える

動画の記録画質を切り替えて、より高画質で録画したり、画質を抑えてより長い時間録画したりできます。

DZ-BD7H

HDD の動画画質 (HD 動画画質) と録画可能時間

動画画質	説明	録画可能時間
HX*	高画質	約 4 時間
HF	標準画質	約 5 時間
HS	長時間	約 8 時間

BD の動画画質 (HD 動画画質) と録画可能時間

ディスク 1 枚 (片面) の記録時間

動画画質	説明	録画可能時間
HX*	高画質	約 1 時間
HF	標準画質	約 1 時間 20 分
HS	長時間	約 2 時間

* 高温の環境では、HF 相当の画質になることがあります。

DVD の動画画質 (SD 動画画質) と記録時間

ディスク 1 枚 (片面) の記録時間

動画画質	説明	録画可能時間
SX*	高画質	約 20 分
SF	標準画質	約 30 分

* 高温の環境では、SF 相当の画質になることがあります。

ヒント

「HD 動画画質」「SD 動画画質」とは、「High Definition (ハイビジョン解像度) 動画画質」「Standard Definition (標準解像度) 動画画質」のことです。

動画画質の切り替えかた

1 [メニュー] を押す

DZ-BD7H

「記録機能設定」▶「HD 動画画質」
 (HDD または BD のとき) / 「SD 動
 画画質」(DVD のとき)

▶動画画質を選ぶ

2

DZ-BD70

「記録機能設定」▶「HD 動画画質」
 (BD のとき) / 「SD 動画画質」
 (DVD のとき)

▶動画画質を選ぶ

[決定] で決定後、[メニュー] で終了
 設定した動画画質が液晶画面に表示されま
 す(P.41)。

- 動画画質の設定は、電源を切っても記憶されています。
- BD が入っているとき、別の BD に入れ替えてでも動画画質の設定は変わりません。
- DVD が入っているとき、別の DVD に入れ替えたり、両面 DVD を裏にして入れ替えて、動画画質の設定は変わりません。
- DVD から BD に入れ替えたり、BD から DVD に入れ替えると、動画画質はそれぞれの最後の設定に切り替わります。

3

4-2

セルフタイマーを使う

静止画撮影のとき、セルフタイマーを
 使って撮影できます。

1 [メニュー] を押す

2 「記録機能設定」▶「セルフタイマー」

▶「オン」

[決定] で決定後、[メニュー] で終了
 セルフタイマーが設定され、液晶画面に
 「約10」が表示されます(P.41)。

[フォト] を半押ししてピントを合わせ
 たあと、全押しします。

「約10」→「約9」→…のようにカウントダウ
 ンが始まり、約 10 秒後に撮影されます。
 カウントダウン中は、レンズ側にある録画
 ランプも点滅します。

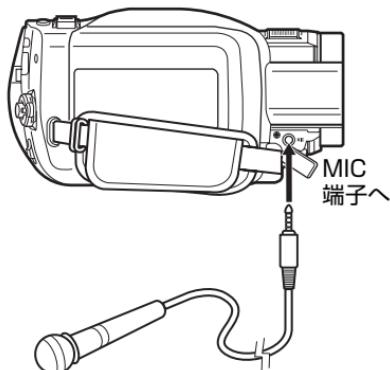
4

- カウントダウンを中止して、「約10」に戻
 すには、[フォト] か [■] を押します。
- セルフタイマーは、以下のことをするま
 でオフになりません。([フォト] を全押
 しするたびに働きます。)
 - メニューでセルフタイマーを「オフ」に
 設定する
 - 電源を切る
 - 動画撮影に切り替える

HDD BD-RE BD-R RAM RW(VR) RW(VF) R

外部マイクを使う

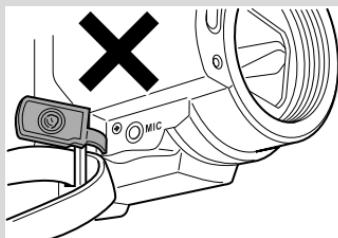
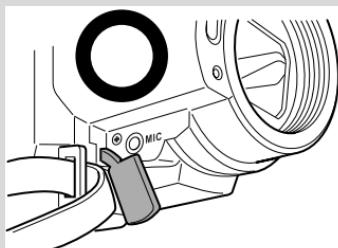
市販の外部マイクを、本機の MIC(外部マイク) 端子に接続して録画すると、よりクリアな音声が記録できます。



- ・ プラグインパワー対応のマイクのみ使えます。
- ・ プラグインパワー型以外のマイクは使用できません。
- ・ 外部マイクのスイッチを入れてから録画を開始してください。
- ・ 外部マイクを接続すると、内蔵マイクは動作しません。

ご注意

外部マイク端子のカバーを開くと、マイクが挿しにくいことがあります。マイクを取り付けるときは、○のようにカバーを開いてください。



HDD

HDD に録画した映像を、BD / DVD にダビングできます。ダビングには次の 4 つの方法があります。

4 つのダビング方法

● 「はじめて」ダビング

HDD へ記録したシーンのうち、まだ BD / DVD にダビングしていないシーンを、先頭から順番にダビングします。

● 「ひにちで」ダビング

同じ日に HDD へ記録したシーンを先頭から順番にダビングします。

● 「まるごと」ダビング

HDD に記録したすべてのシーンを先頭から順番にダビングします。

● 「えらんで」ダビング

HDD に記録したシーンから、お気に入りのシーンだけを選んでダビングします。

ダビングに使うメディアと画質

● BD へダビングする場合

HDD へ記録した画質のままダビングします。

● DVD へダビングする場合

- ・ HD 画質を SD 画質に変換してダビングします。
- ・ ダビングするときに、画質モードを選ぶことができます。

ダビングにかかる時間

約 60 分のシーンをダビングするときの所要時間の目安は以下のとおりです。

ディスクの種類	BD	DVD
画質モード		
HX	約 30 分	—
HF	約 22 分	—
HS	約 15 分	—
SX / SF	—	約 2 時間

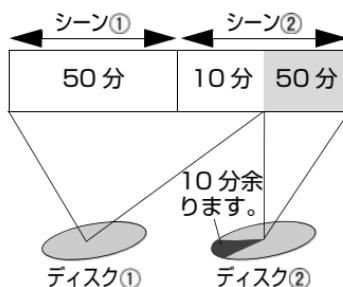
1 枚の BD / DVD に収まらないとき

1 枚の BD / DVD に収まらないときは、次の 2 つの方法でダビングできます。

● 自動分割あり

シーンの容量を自動的に計算して、シーンの途中であっても、1 枚のディスク内いっぱいまでダビングします。

例 : BD に HX モードでダビングしたとき

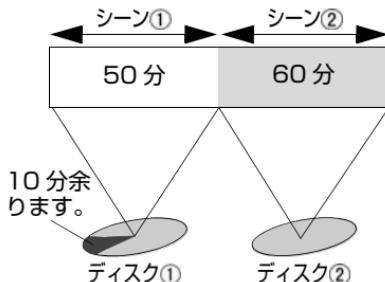


1 枚目のダビングが終了したときに、表示される交換の画面にしたがって BD / DVD を交換すると、2 枚目のダビングを開始します。すべてダビングするまで、交換の画面は表示されます。

● 自動分割なし

1枚のディスク内に収まるシーンまでをダビングします。

例：BDにHXモードでダビングしたとき



始める前に

- 録画可能なBD／DVDを準備してください。(P.31)
- ダビングするときは必ずACアダプター／チャージャーを使用してください。バッテリーパックを使ってダビングはできません。
- ダビングの途中で電源が切れて中断すると、正しくダビングできません。
- 1回のダビング中に、BDとDVD両方のディスクへダビングすることはできません。複数のディスクにダビングする場合は、BDまたはDVDどちらかのディスクを複数用意してください。
- 1枚のBD／DVDにダビングできるシーンの記録時間の目安については、「HDD／BD／DVD／カードの記録容量」(P.179)をご覧ください。

- 自動分割なしの場合は、1枚のBD／DVDに収まる長さ以上のシーンが含まれているとダビングできません。自動分割ありにするか、またはそのシーンを分割(P.93)してからダビングしてください。

ダビングするときのヒント

- ダビングできる最大のシーン数は、ダビングするBD／DVDによって異なります(P.180)。
- 一度ダビングしたシーンのサムネイルには、ダビング済マーク「」が表示されます。サムネイルが見づらいときは、「」を消すことができます(P.82)。(ただし、消すとダビングされていないことがあります。)



- ダビング済マークのついたシーンだけをダビングしたいときは、HDDの「表示分類」をお使いになると便利です(P.81)。

プレイリスト (P.88) とダビングについて

- 本機では、HDD のディスクナビゲーション画面の表示順で BD / DVD へダビングされます。シーンの順番を変えてダビングする場合には、ダビングしたい順番でシーンを登録したプレイリストを作成し (P.89)、その後、ダビングしてください。
- プレイリスト上で異なる日付のシーンを結合し、BD-R / DVD-RW (VF モード) / DVD-R にダビングした場合は、日付ごとに分かれてダビングされます。ただし、異なる日付のシーンを結合したあと、さらにシーン分割をしてからダビングした場合、日付ごとにシーンが分かれないことがあります。

編集で分割 (P.93)、結合 (P.93) したシーン、フェード効果 (P.94) とダビングについて

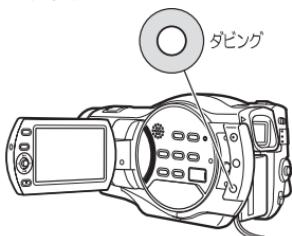
- 編集機能でシーンを分割後、分割した両方のシーンを 1 枚の DVD にダビングする場合、分割される前の 1 つのシーンとしてダビングされます。
- 編集機能を使って結合したシーンを DVD-RW (VF モード) / DVD-R にダビングした場合、結合する前のそれぞれのシーンに分かれてダビングされます。
- HDD のフェード効果は、BD-R / DVD-RW (VF モード) / DVD-R にダビングした場合、反映されません。

ダビングするときのご注意

- 本機でダビングした BD-R / DVD-RW / DVD-R は、ファイナライズされていません。BD / DVD レコーダーなどで再生するときは、必ず本機でファイナライズしてください。
- ダビング開始後からダビング中に表示される残り時間はめやすです。シーン数が多かったり、温度が高いときには、画面の表示より時間がかかることがあります。
- 本機の不具合などにより、ダビングが正常にできなかった場合の内容 (データ) の補償や損失、直接・間接の損害について、当社は一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。
- ダビングしたディスクが正しく再生できるかを確認してから、HDD のシーンを削除することをおすすめします。

まだダビングしていないシーンをダビングする (はじめてダビング)

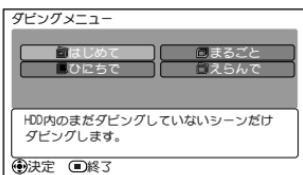
HDD へ記録した、まだ BD ／ DVD にダビングしていないシーンをダビングします。



- 1** 本機に AC アダプター／チャージャーを接続する (P.36)
バッテリーパックでは、ダビングできません。

- 2** 電源スイッチを「HDD」に切り替える (P.26)

- 3** 「ダビング」を押す
「ダビングメニュー」が表示されます。



- 4** 「はじめて」を選び、[決定]を押す

- 5** 「BD」または「DVD」を選び、[決定]を押す

- 6** ダビングするディスクを入れる (P.33)
 - DVD の場合、「SX」または「SF」の画質モードを選び、[決定]を押す
 - ディスクが2枚以上必要な場合→手順7へ
 - ディスクが1枚で収まる場合→手順8へ

- 7** 「自動分割あり」または「自動分割なし」を選び、[決定]を押す
確認画面が表示されます。

- 8** 「ダビング実行」を選び、[決定]を押す
ダビングを開始します。

- 9** ディスクを交換する
1枚のディスクに収まらないときは、ディスク交換の確認画面が表示されます。ディスクを交換してください。

- 10** ダビング終了後にシーン削除の画面を確認する
「はい」を選ぶと、ダビングしたシーンを HDD から削除します。
ダビングしたシーンを HDD に残しておきたい場合は、「いいえ」を選んでください。

- 11** ディスクを取り出す
• または、[■]で、終了します。

本機から取り出した
BD-R / DVD-RW (VF モード)、
DVD-R を BD / DVD プレーヤー
などで再生する前に →
「ファイナライズ」してください。(P.103)



- ディスクナビゲーション画面から、「ダビングメニュー」を表示させることができます。[ディスクナビゲーション]を押してから、[メニュー]を押し、「シーン」▶「ダビング」▶「ダビングメニュー」を選び、[決定]を押します。
- 一度ダビングしたシーンを「はじめてダビング」でダビングするには、ダビング済マークを解除してください。(P.82)
- ダビング中に[■]を押すと、ダビング中止の確認メッセージが表示されます。ダビングを中止したいときは、「はい」を選び [決定] を押してください。ダビングを中止します。

同じ日に撮影したシーンをまとめてダビングする (ひにちでダビング)

HDD へ同じ日に記録したシーンをまとめてディスクにダビングすることができます。

1

本機に AC アダプター／チャージャーを接続する (P.36)
バッテリーパックでは、ダビングできません。

2

電源スイッチを「HDD」に切り替える (P.26)

3

[ダビング] を押す
「ダビングメニュー」が表示されます。

4

「ひにちで」を選び、[決定] を押す
「ダビング日付選択」画面が表示されます。

ダビング日付選択		合計時間	シーン数
001	2007/ 9/ 1	13分25秒	20
002	2007/ 9/ 3	1時間 1分 6秒	10
003	2007/ 9/ 4	55分36秒	1
004	2007/ 9/ 12	1時間55分37秒	3
005	2007/10/11	59分27秒	12
006	2007/11/ 1	32分45秒	38

[④決定] [⑤戻る]

5

ダビングしたい日付を選び、
[決定] を押す

6

「BD」または「DVD」を選び、
[決定] を押す

ダビングするディスクを入れる (P.33)

7

- DVD の場合、「SX」または「SF」の画質モードを選び、[決定] を押す
- ディスクが2枚以上必要な場合→手順8へ
- ディスクが1枚で収まる場合→手順9へ

8

「自動分割あり」または「自動分割なし」を選び、[決定] を押す
確認画面が表示されます。

9

「ダビング実行」を選び、[決定] を押す

ダビングを開始します。

10

ディスクを交換する

1枚のディスクに収まらないときは、
ディスク交換の確認画面が表示されます。
ディスクを交換してください。

11

ダビング終了後にシーン削除の画面を確認する

「はい」を選ぶと、ダビングしたシーンを HDD から削除します。
ダビングしたシーンを HDD に残しておきたい場合は、「いいえ」を選んでください。

12**ディスクを取り出す**

- または、[■]で、終了します。

本機から取り出した
BD-R / DVD-RW (VF モード)、
DVD-R を BD / DVD プレーヤー
などで再生する前に →
「ファイナライズ」してください。 (P.103)

ピト

- ディスクナビゲーション画面から、「ダビングメニュー」を表示させることもできます。[ディスクナビゲーション]を押してから、[メニュー]を押し、「シーン」▶「ダビング」▶「ダビングメニュー」を選び、[決定]を押します。
- ダビング中に[■]を押すと、ダビング中止の確認メッセージが表示されます。ダビングを中止したいときは、「はい」を選び、[決定]を押してください。ダビングを中止します。

**HDD に記録したすべての
シーンをダビングする
(まるごとダビング)**

HDD に記録したすべてのシーンを先頭から順番にディスクへダビングできます。

1

- 本機に AC アダプター / チャージャーを接続する (P.36)**
バッテリーパックでは、ダビングできません。

2**電源スイッチを「HDD」に切り替える (P.26)****3****[ダビング]を押す**

「ダビングメニュー」が表示されます。

4**「まるごと」を選び、[決定]を押す****5****「BD」または「DVD」を選び、
[決定]を押す****6****ダビングするディスクを入れる (P.33)**

- DVD の場合、「SX」または「SF」の画質モードを選び、[決定]を押す
- ディスクが2枚以上必要な場合→手順7へ
- ディスクが1枚で収まる場合→手順8へ

7**「自動分割あり」または「自動分割なし」を選び、[決定]を押す**

確認画面が表示されます。

8**「ダビング実行」を選び、[決定]を押す**

ダビングを開始します。

9**ディスクを交換する**

1枚のディスクに収まらないときは、ディスク交換の確認画面が表示されます。ディスクを交換してください。

10**ダビング終了後にシーン削除の画面を確認する**

- 「はい」を選ぶと、ダビングしたシーンを HDD から削除します。
ダビングしたシーンを HDD に残しておきたい場合は、「いいえ」を選んでください。

ディスクを取り出す

- または [■] を押して、終了します。

11

本機から取り出した
BD-R / DVD-RW (VF モード)、
DVD-R を BD / DVD プレーヤー
などで再生する前に →
「ファイナライズ」してください。 (P.103)

ピト

- ディスクナビゲーション画面から、「ダビングメニュー」を表示させることもできます。[ディスクナビゲーション] を押してから、[メニュー] を押し、「シーン」▶「ダビング」▶「ダビングメニュー」を選び、[決定] を押します。
- ダビング中に [■] を押すと、ダビング中止の確認メッセージが表示されます。ダビングを中止したいときは、「はい」を選び、[決定] を押してください。ダビングを中止します。

**HDD に記録したシーンを選んでダビングする
(えらんでダビング)**

HDD に記録したシーンを選択して、お気に入りのシーンだけをディスクにダビングすることができます。

1

本機に AC アダプター／チャージャーを接続する (P.36)
バッテリーパックでは、ダビングできません。

2 電源スイッチを「HDD」に切り替える (P.26)

3 [ダビング] を押す
「ダビングメニュー」が表示されます。

4 「えらんで」を選び、[決定] を押す

5 「BD」または「DVD」を選び、
[決定] を押す

6 ダビングするディスクを入れる (P.33)
• DVD の場合、「SX」または「SF」の
画質モードを選び、[決定] を押す

7 「自動分割あり」または「自動分割なし」を選び、[決定] を押す
確認画面が表示されます。

ダビングしたいシーンを [選択] で
選び、[決定] を押す



この手順を繰り返して複数のシーンを選ぶことができます。

9 「ダビング実行」を選び、[決定] を押す

ダビングを開始します。

10 ディスクを交換する
1枚のディスクに収まらないときは、
ディスク交換の確認画面が表示されます。
ディスクを交換してください。

ダビング終了後にシーン削除の画面を確認する

11

「はい」を選ぶと、ダビングしたシーンをHDDから削除します。

ダビングしたシーンをHDDに残しておきたい場合は、「いいえ」を選んでください。

ディスクを取り出す

- または、[■]を押して、終了します。

12

本機から取り出した
BD-R / DVD-RW (VFモード)、
DVD-RをBD / DVD プレーヤー
などで再生する前に →
「ファイナライズ」してください。(P.103)

ピト

- ディスクナビゲーション画面から、「ダビングメニュー」を表示させることができます。[ディスクナビゲーション]を押してから、[メニュー]を押し、「シーン」▶「ダビング」▶「ダビングメニュー」を選び、[決定]を押します。
- ダビング中に[■]を押すと、ダビング中止の確認メッセージが表示されます。ダビングを中止したいときは、「はい」を選び、[決定]を押してください。ダビングを中止します。

ダビング済／未ダビングのシーンを一覧する(表示分類)

HDDに記録したシーンを、ディスクにダビングしたシーンと、まだダビングしていないシーンとに分けて、ディスクナビゲーション画面に表示します。

表示分類の設定

全て

ダビングしたかどうかに関係なく、撮影順にすべて表示します。

ダビング済

ダビング済マーク「」のついたシーンを撮影順に表示します。

設定後のディスクナビゲーションの右上に「」と表示します。

未ダビング

ダビング済マーク「」のついていないシーンを撮影順に表示します。

設定後のディスクナビゲーションの右上に「」と表示します。

「表示分類」を設定する

1 [ディスクナビゲーション]を押してから、[メニュー]を押す

2 「その他設定」▶「表示分類」▶表示分類の設定を選ぶ

3 [決定]を押し、[メニュー]で終了する
・ディスクナビゲーション画面を終了すると、「全て」に戻ります。

B
D
/D
V
D
に
ダ
ビ
ン
グ
す
る

ダビング済みのシーンを、はじめてダビングできるようにする（マーク解除）

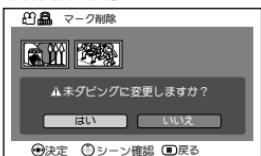
一度ダビングしたシーンでも、ダビング済みマーク「☒」を解除すれば、はじめてダビングできるようになります。

ダビング済みマーク「☒」解除のしかた

1 [ディスクナビゲーション] を押す

2 ダビング済マークを消したいシーンにカーソルを合わせ、[選択] を押してから、[メニュー] を押す
• 複数のシーンを選択できます。

3 「シーン」▶「ダビング」▶「マーク解除」▶[決定] で決定
• 確認画面が表示されます。



4 「はい」を選び、[決定] で決定後、[■] で終了